

[演題 10]

東京都港区内におけるハチ類の駆除と駆除地区の分布状況

○鈴木 光樹, 元木 貢, 佐々木 健

アペックス産業株式会社

Control and distribution of wasps in Minato-ku, Tokyo

○Mitsuki Suzuki, Mitsugu Motoki, Takeshi Sasaki

Apex Pest Control Co., Ltd.

近年、全国的にスズメバチ、アシナガバチ、ミツバチなどの社会性ハチ類を中心としたハチに関する苦情相談・駆除依頼が増加している。東京都においても、相談件数は増加傾向にあり、各ハチ類の件数や年間の駆除件数などは、行政機関や東京都ペストコントロール協会より公表されている。これらのデータから衛生動物問題の実状を把握することは、それらへの対応策や住民への情報提供を行ううえで重要である。また、駆除地域の環境状況と組み合わせることで、都市環境におけるハチ類の発生傾向を掴むことができるかもしれない。過去には札幌市や名古屋市近郊などにおいて、駆除件数の地区別集計を実施したものがあつたが、東京都において発表されたものは少ない。

そこで今回は、当社に寄せられた港区における直近3年間のハチ駆除件数について、ハチ類別、および地区別で集計を行い、港区が公表している緑地環境データと組み合わせることで、都市環境におけるハチの発生状況について検討した。

3年間の総駆除件数は187件で、駆除対象のほとんどがスズメバチ類とアシナガバチ類であり、最近ではスズメバチ類の割合が多い傾向にあり、年間の駆除件数は夏季に集中していた。地区別の駆除件数を集計した結果、駆除件数は赤坂地区(60件)、麻布地区(56件)、高輪地区(54件)の3地区に集中しており、総駆除件数に対する割合は3地区の合算で90%を超えていた。

環境状況をみると、駆除件数の多い地区は、住宅系用地が多く、また、大規模な緑地を有する施設があり、港区内では比較的緑被率の高い地区であつた。一方、芝地区は緑被率・樹木被覆率が駆除件数の多い麻布地区と近いにもかかわらず、駆除件数が少なかった。これは、芝地区は商業用地が多く、高層のオフィスビルなどが立ち並ぶため、駆除件数の多い地区よりも営巢しにくい環境になっている可能性が考えられる。

今回の調査では、集計地域を港区に限定したが、港区は他区と比較して、緑被率・樹木被覆率が高い地域であるため、他の区では発生状況が異なる可能性が考えられる。今後、港区におけるデータを増やすとともに、都内でも異なる自然環境にある地域のハチ駆除件数を集計することが課題である。